


DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



仮初めの恋



ぬくもりも優しさも
汚れなき魂も

光は全てどこかへ
なくしてしまった



お前は
俺が
うとましくは
ないのか？



なんだ…？

急に

時々自身への
評価を耳にする

「人間味がない」
「恐ろしい」



初めは皆
興味をもって
近づいてくるが

そのうち誰もが
失望したような
顔で離れていく

お前は昔から
変わらない

もし何か
義理のような
ものを感じて
そばに
いるのであれば…

ちよっと
待て

おまえのそばに
いることを
義理だなどと
思ったことは
ない

ましてや
うとましい
だなんて

むしろ私の方が
うるさがられている
のではと
懸念している
くらいだ

そうか

ならいい

……おまえは

そんな風に
かげで言われて
さみしくは
ないのか？

傷ついたりは？

特にそのような
感情を
抱いた事はない

合わない人間と
行動を共にしたくない
と思うのは
当然の権利だ

私は
おまえがそういった
扱いを
うける事に
胸が痛むよ

何故だ？

お前は俺では
ないし
俺はお前
ではない

状況の共有感をもつ
など理解不能だ

私とおまえは
友人だろう

友人が
辛いめに
あっているなら
私がそれを
辛く感じるのも
当然だ

最もおまえが
その事を
気に病んで
いないのなら

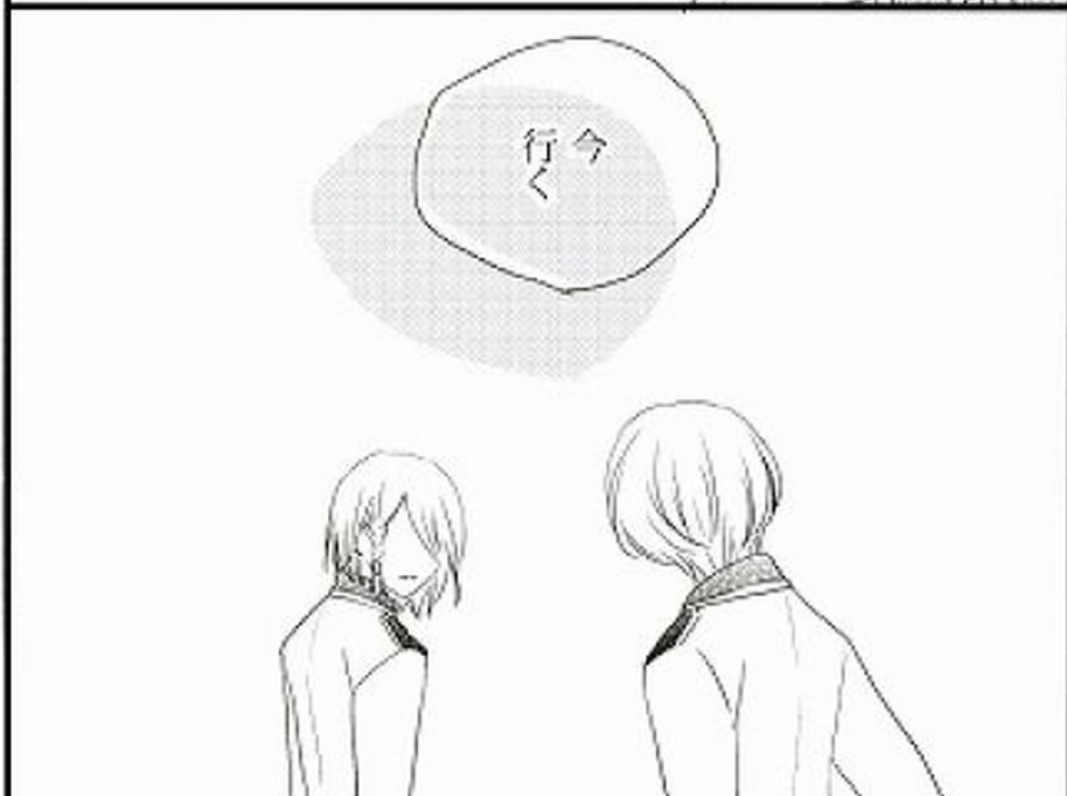
私の勝手な
おせっかい
だが…

この男は

昔から
まっすぐだ

俺がどこかへ
置いてきて
しまった

なくしてしまった
ものをもっている



この気持ちを

何と呼ぶのか





ふん…

何だ

何か用か
アードライ

今
正式に軍より
通達があった

おまえも私も
同じ特務隊チームに
任命されたぞ

私だ
エルエルフ
今
平気か？

元より
成績
上位者は
特務隊
上部配属
と決まってる
いたよう
だが…
直属の
上司は
あのカイン
教官だ
そうだ

どうか
したのか？

いや…

ああ

軍服も
届いたんだな
よく似合ってる

私も早速
着てみた



立ち話も
何だ

部屋へ
入れ



個室も
私の部屋と
同じような
つくりだな

訓練生時代
と違って
余裕のある
空間だ



いいのか？

遠慮など
らしくないな

元々同部屋
だったろう



こうして
ゆっくり
話せるのは

なんだか
久しぶりだ



そうだが…
卒業間際は
試験だなので
忙しかったからな

部屋には
寝に帰っていた
ようなものだし



お前は以前俺の
戦い方を責めた事が
あったな 無謀だと

ん？



覚えているか
アードライ

ゴト



ああ あれか
すまなかった

あとから
知ったが！

私たちの同期が
他に比べて異様に
生存率が高いのは
おまえのおかげらしいな



その話の
あとだ

？

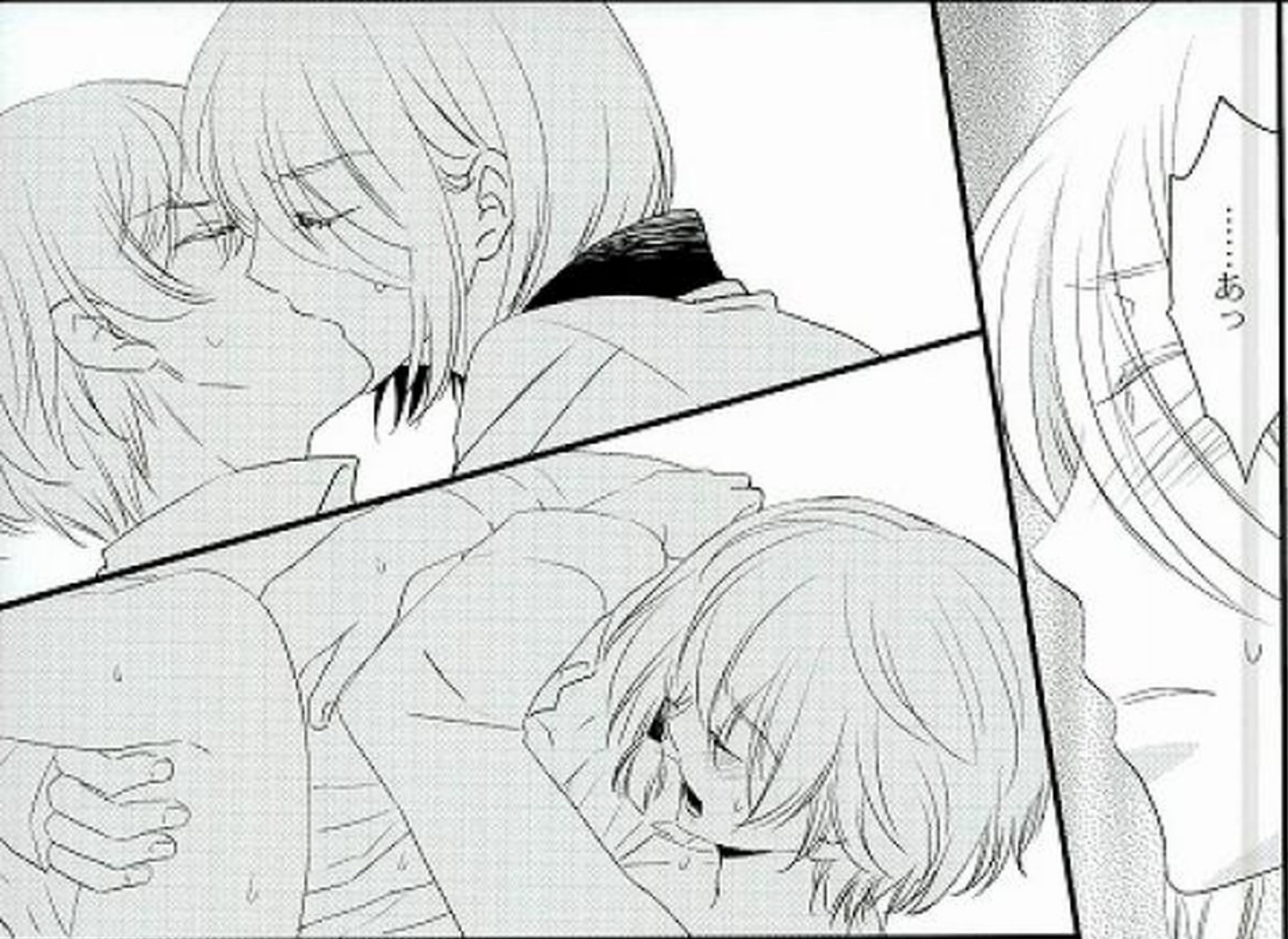


違う

私は
責める
ばかりで
……



身を呈して
仲間の命を
救っていた
というのに



……あ



あのあと
お前は俺を
避けるように
なった

気づいて
ないとても
思っているのか

あれは…

その…

避けてなど……!

では何だというのだ
就寝時間も
意図的にズラして
いただろう

あれは単なる
性欲処理の
一環だったのか

それなら
それでいい

くや……

そんなわけ……

あ……あの時の事を
おまえが気にして
いるのなら
それは……

そんな事は
どうでもいい

俺が気がかりなのは
お前のその
不自然な態度だ

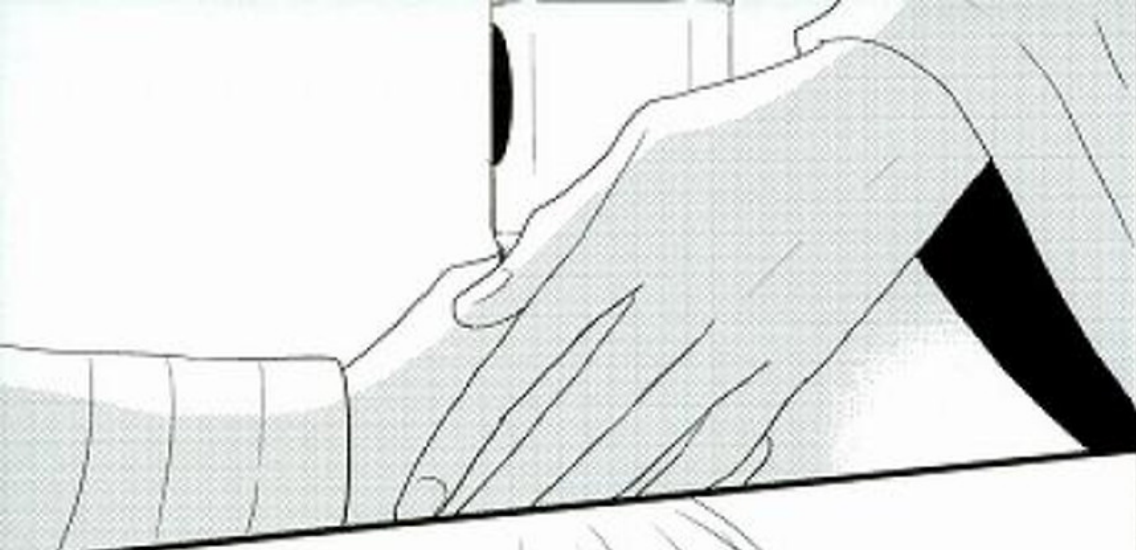
今後の任務に
支障をきたす

あの行為を
後悔しているなら
忘れる


俺も
気には
していない

エルエルフ
どうして


……きみは



自分の事を
そんな風に



触れては
いけないと
思った



あの日
私は

欲望のままに
君を求めた

絆を
深めるのに
もっと他の方法が
あったらうに……

触れれば
また自分を
抑えられなく
なる

欲に溺れて
君を傷つけて
しまうかも
しれない

エルエルフ 私は

君を

守りたいんだ

愚かだな

俺は
お前に
守られたい
などと
思っ
ては
いな
い

なぜ そんな

辛そうな
顔をする



わかっている
この男は

俺の全てを
手に入れたいのだろう

だが俺の命は
俺のものではない

これは
仮初めの命

この男の
願いは
かなわない

俺の願いも
かなわない

欲しいものは
全ては
手に入らない

ただ一つのために
他の全てを
捨てなければ



もういい
この話は
おわりだ

お前が俺に
今後一切
干渉しないと
約束するなら
それでいい

待て……!

エルエルフ
本当の事を
教えてくれ

君は私に
どうして
欲しかった……?

もつと
触れても
よかったのか!?

それとも
私の想いは
重荷だったか?

放せ…

アードライ

…そうやって君は
拒絶しながら

縦るような
目をする

どうしていいか
わからなくなる

続けるような…
俺が？

私は…
君の事が
…大切に…

君が私のことを
どう思ってたようと
かまわない…！

それでも私は
君と一緒に
いたいんだ…！

「私は」

「私は」

お前は
自分の事
ばかりだな

エルエルフ…





クラクラ
する

この男の舌は
なんて甘さだ

……
んっ……

きれいな

指だ

君の
全てに

口づけ
したくなるよ


く
く
く



また

そんな
目をして

歯止めが
きかなく
なる……



好きに
すればいい

たしかに
これは
互いを
知る上で

最善の
方法だ……

もっと近くに

近くに

境が
わからなくなるくらいに

ん…
ろ…

…服が

は
は

ちゅ
ちゅ

ちゅ

ふ…

軍服が

汚れて
しまうな…

脱がせても
かまわない
か…？

ああ…















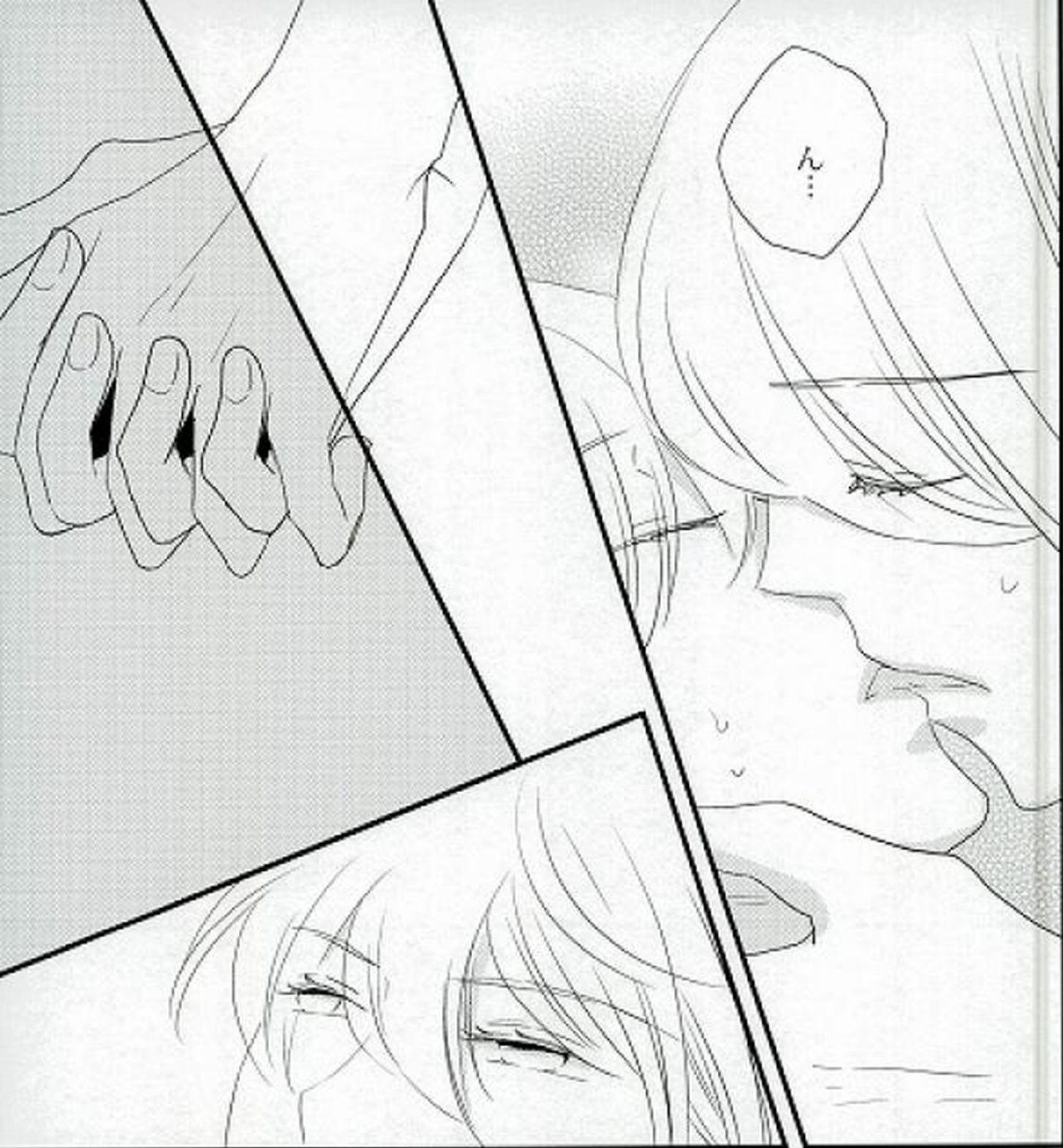
70
70
...




ハッ...
アッ

70
70

エルエルフ...






アードライ
俺に遠慮
するな

言いたい事が
あれば言えばいい

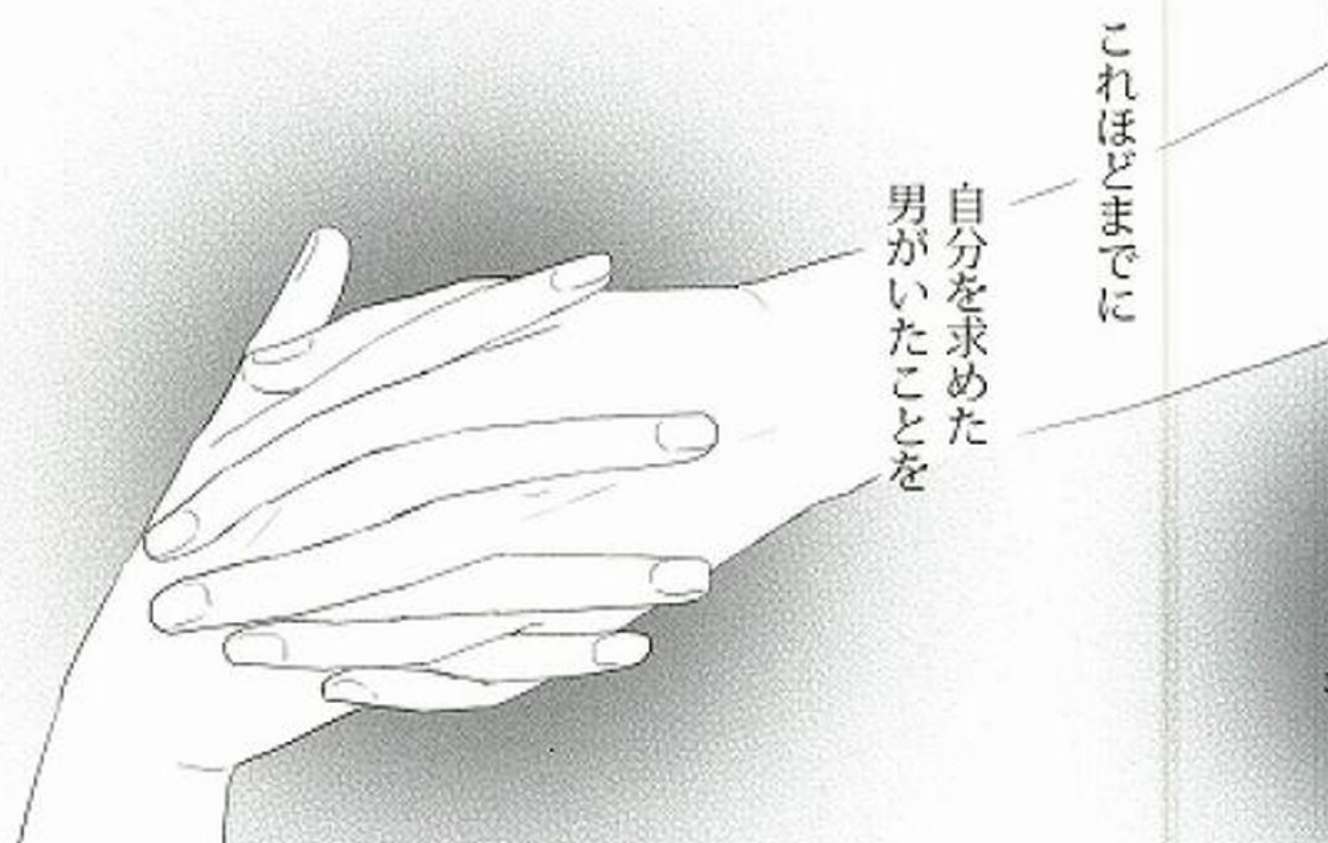
したい事が
あれば
すればいい



セックスの
最中のお前は

欲望に忠実で

とても
好ましい






時給ハルト
……失礼な
奴だ……




いつから服着がえて
ニヤニヤもさるぞ
甘ニヤ
ちんちん
チンチン
チンチン






おまえという
片腕を手
入れられるのなら

左目など
惜しくはない




クーフイアやめる
撃つな




相変わらず
理想ばかり

高くて

どこまでも
甘い



お前の望む世界は
綺麗すぎて



きっとこの恐ろしい世界には
耐えられないだろう

世界を
変えるには
力が必要だ

そのために

汚れようと
曲がろうと
折れようと

命を
失おうとも

そんな

世界の
果てへ

つれて
いきたくは
なかった



エルエルフ

耳に残る
あの声

エルエルフ

エルエルフ！

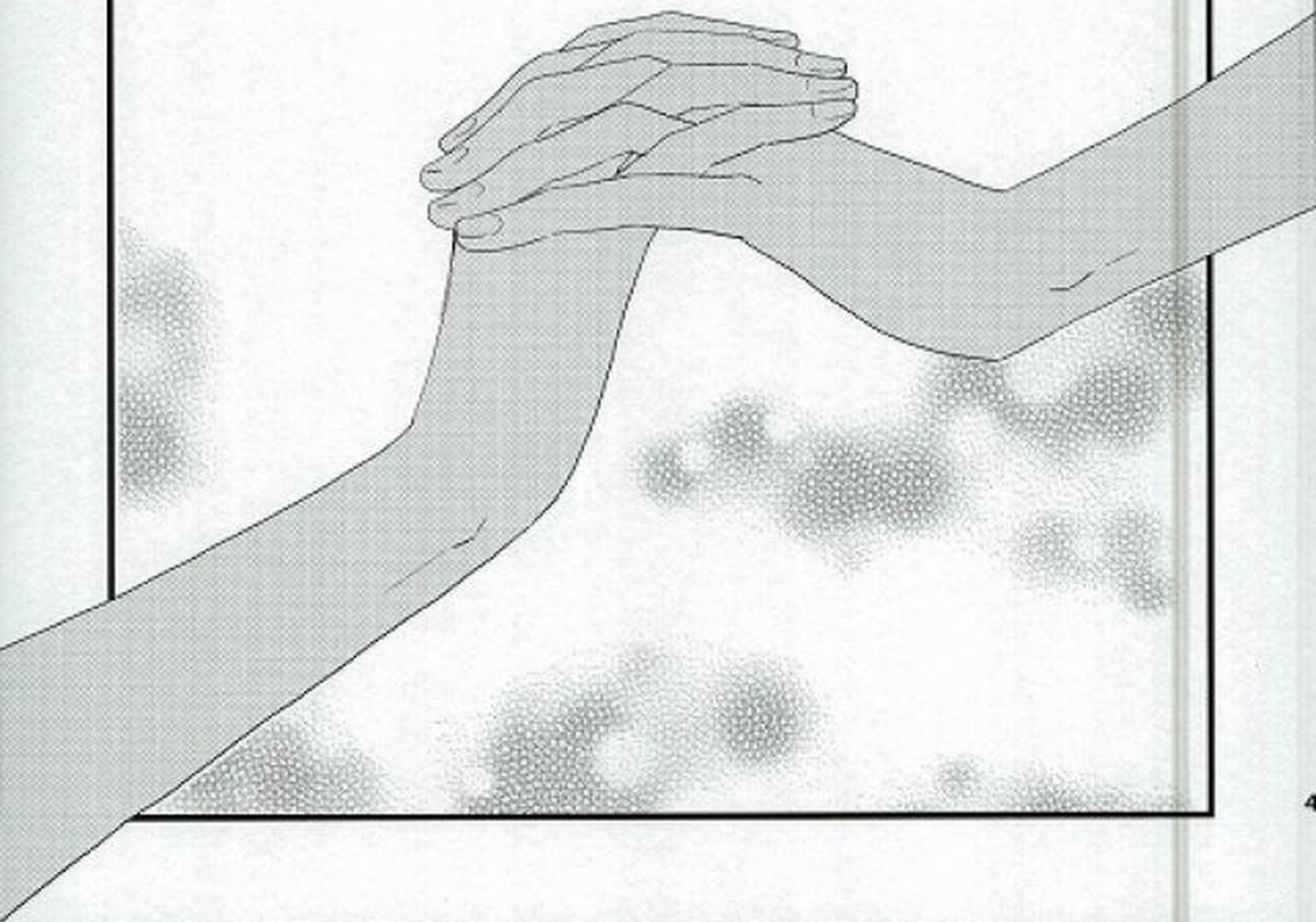
触れた
指先



アードライ

お前のくれた
言葉の一つ一つが

前へと進む
支えになる



karisome-no-koi



ORANGE DOLL